

パソコン検定試験Ⅲ種にチャレンジ!

検定を主催している日本情報教育検定協会にうかがいました。

お話をしてくださったのは、日本情報教育検定協会(以下、日情検)事務局の鶴飼陽介さんと、入澤暁浩さんです。

日情検って?

日本の子どもたちへの情報教育は、欧米に比べるとかなり遅れているといわれています。

そこで、日情検では平成七年より、子どもたちを対象としたパソコン検定を実施し情報教育の普及を図っています。

同時に子どもたちを教える側の育成を目的とした試験も積極的におこなっています。

将来ますます情報社会が進んでいくことを考え、当協会ではこれからも子どもからお年寄りまでがその社会に対応していくことができる人材とシステム作りをしていきたいと考えています。

試験の特徴

パソコン検定試験Ⅲ種では、小・中学生限定で年六回(一ヶ月に一回)実施する、

という試験回数が多いことが特徴です。

また、前回より、初段・準二級・準一級が加わり、ランクが十三段階となりました。

ですから、初段、二級(中学三年程度)、準二級(中学二年程度)、準一級(中学一年程度)、四級、五級(小学六年程度)、六級、七級(小学五年程度)、八級、九級(小学四年程度)、十級(小学低学年程度)があります。

ただ、「〇年程度」というのはあくまで目安ですので、お子さんのレベルに合わせて受けることができます。

何級から受けないといけない、という決まりもないので、自分の学年が対象の級よりも上の級にいきなり合格し、試験回数が多いため、どんどんさら上の級を目指していくこともできます。

試験の内容

入力には十分間のあいだに何文字正しく打てたかが問題となります。級によって、漢字、アルファベット、数字を入れる割合や、学校で習っている漢字のことなどを考えてあります。

問題の文字数は、合格基準の文字数より多く出題されますので、例えば、十級や九級では、全部打ち終われなかった子や、ひらがなしか打てない子が、漢字を飛ばして打つても合格できるようにになっています。

文書作成では、タイトルの文字加工や表や図形の挿入など、上の級になるにしたがって複雑になっています。

三級以上になると、エクセルでの表計算・グラフ作成、筆記試験があります。

筆記試験の内容も、二級や初段は少しむずかしいですが、二級から三級までは基礎的なパソコンの知識、一般常識です。

増加する受験者数

受験者数も毎年増えており、平成十七年二月二十七日の第五十七回の試験では、約二、八〇〇人にまでなりました。合格率も、過去の問題

を練習してくると多いせい、平均七十五%くらいと高めです。

もちろん、三級以上は三十〜四十%くらい、初段と二級となると十〜二十%とだんだん低くなりますが、二つの級に合格すると、じよじよに級を上げて受けられる機会が多いことも影響していると思います。

合格のメリット

パソコンに対する取り組みが特に進んでいる地域では、校長先生が朝礼などみんなが集まる機会を利用して「〇〇くんが合格しました」と表彰しています。

これからは、学校でのコンピュータの授業がますます盛り上がっていくでしょうし、今以上に注目される資格になると思います。

高校受験では、私立だけでなく、公立校でも推薦入学で受験する生徒の内申書にパソコンの資格を持つことが書かれ、有利になる、という話も聞きます。実際、中学の先生からの問い合わせも

多く、「おかげさまで無事合格できました」とご連絡をいただくこともあります。

コンピュータは、今のお子さんにとって、将来必ず必要になってくるものですが、小さいうちから基礎をきちんと身に付けておくことは、とても大切だと思います。

小学校三年生から国語でローマ字を習い始めますが、コンピュータへのローマ字入力は、学校でも同時に二つのことが学べる有益な学習ととらえているところが多いように感じます。

読者の方へのメッセージ

「この試験では、実技を重視しています。文書作成技能や表計算技能は、これから社会に出てからも基礎となってくるものだと考えているからです。」

保護者の方の負担を軽くするために受験料も安く設定してありますので、お子さんのために気楽な気持ちで受けてみてください。お問い合わせも歓迎しています(入澤さん)

「できて当たり前」の時代になると思うので、小さいうちから身につけておいたほうが安心だと思います。

また、学校のパソコンクラブなどで活動しているお子さんたちにも力を試すために受けてほしいですね(鶴飼さん)

「小・中学生を対象とした資格で、これだけ級がたたくさんあるものは少ないと思います。十年間の実績もある資格ですから、お父さん、お母さんはもちろん、学校の先生も積極的にお子さんと一緒に勉強してほしいですね。」

「この試験では、実技を重視しています。文書作成技能や表計算技能は、これから社会に出てからも基礎となってくるものだと考えているからです。」

「この試験では、実技を重視しています。文書作成技能や表計算技能は、これから社会に出てからも基礎となってくるものだと考えているからです。」

見事!初段に合格した 杜澤岳彦(とざわたかひ)くん(中3)とお母さんの美千子さんに聞きました。

岳彦くん「父が持っていたパソコンを中1からさわりました。早く打てると楽しいです。1級を持っていたことを内申書に書いてもらえ、4月から志望校の高校生になります。プログラミングもできるようになって、将来は漠然とですが、パソコンを使った仕事がしたいと思っています」
お母さん「本人が興味を持っていたので自己流にならないように、と私がパソコン教室に通うことをすすめました。私が教えているピアノの発表会の案内なども作ってくれるので、とても助かっています」

パソコン検定試験Ⅲ種

日情検の試験が全国47都道府県で受験できる!!

第59回 試験実施日 平成17年6月26日(日) 第60回 試験実施日 平成17年8月28日(日)
申込期間 5月19日(木)~6月2日(木) 申込期間 7月14日(木)~7月28日(木)

年6回実施
本試験は、小・中学生を対象として、入力速度からワープロ・表計算の技術の基礎及びパソコンの知識の習得を問う試験です。
受験料(税込) 初段:3,150円 1級・準1級:2,620円 2級・準2級・3級:2,100円 4~10級:1,570円

子ども向けのパソコン検定! 小・中学生対象

日本情報教育検定協会 0120-866-636
〒101-0065 東京都千代田区西神田1-3-6 ゼネラル神田ビル2F TEL:03-3292-0888 FAX:03-3292-0771 E-mail:nichijyoken@pnetclub.net http://www.joho-kyoiku.gr.jp/



めざせ!初段!!

試験会場募集中 ※詳しくはフリーダイヤルまでお問い合わせください。